

第43期 株主通信

2010年4月1日～2011年3月31日

証券コード：7775

Making a New Future

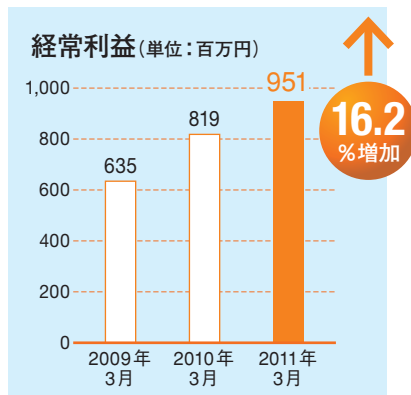


COOPDECH



医療社会を未来する
大研医器株式会社

主力商品群が好調。 今期も増収増益を達成。



株主通信発行にあたり、まずこの度の東日本大震災により被害を受けられた地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

それでは2011年3月期決算と経営の状況をご報告させていただきます。

当事業年度の我が国の経済は、各種景気刺激策の効果やアジア新興国の内需拡大等を背景に回復基調にあったものの、急激な円高、個人消費の下落、厳しい雇用情勢等により、依然として不安定な状況が続いております。加えて、平成23

年3月11日に発生した東日本大震災が国内経済に与える影響は甚大であり、非常に先行き不透明な状況となっております。

また、医療機器を取り巻く事業環境は、国による医療費抑制政策が進められていることに加え、国内外の電機メーカーを中心とした異業種からの新規参入も相次いでいることから、企業間競争もより激しさを増してきており、引き続き業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築

並びに高度先進医療分野への研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

その結果、2011年3月期の決算は、売上高は62億42百万円(前期比8.8%増)、経常利益は9億51百万円(前期比16.2%増)、当期純利益は5億55百万円(前期比13.9%増)となりました。

これは、主としてフィットフィックス及びキューインポットが好調に推移し、また、シリンジェクター関連では特定保険医療材料であるPCAセットの伸び率が大きく寄与したことが主な要因であります。

今後の当社を取り巻く環境は、医療費抑制策の基調が継続し、病院間の競争の激化や国内外のメーカーとの価格競争などにより、引き続き厳しい状況で推移するものと思われます。このような状況のもと、独創技術で医療革命を目指す意味をこめたクーデック(COOPDECH)のブランディング強化に努め、さらなる業績と顧客満足度の向上を図り、企業価値の増大に向けて以下のことに取り組んでまいります。

- ① 既存製品の拡充・新製品の開発
- ② 海外販売の拡充
- ③ 優秀な人材の確保、教育の強化
- ④ 品質保証体制の充実
- ⑤ 強固な企業体質の確立

これらを踏まえ、2012年3月期の見通しといたしましては、売上高70億円(前期比12.1%)、経常利益11億20百万円(前期比17.7%)を計画しております。

また、当社は、株主への配当政策を重要経営課題の一つと認識し、経営成績に裏づけされた成果の配分を行うことを基本と考えております。この基本方針に基づき、2011年3月期の期末配当金を1株当たり22円とさせていただきます。

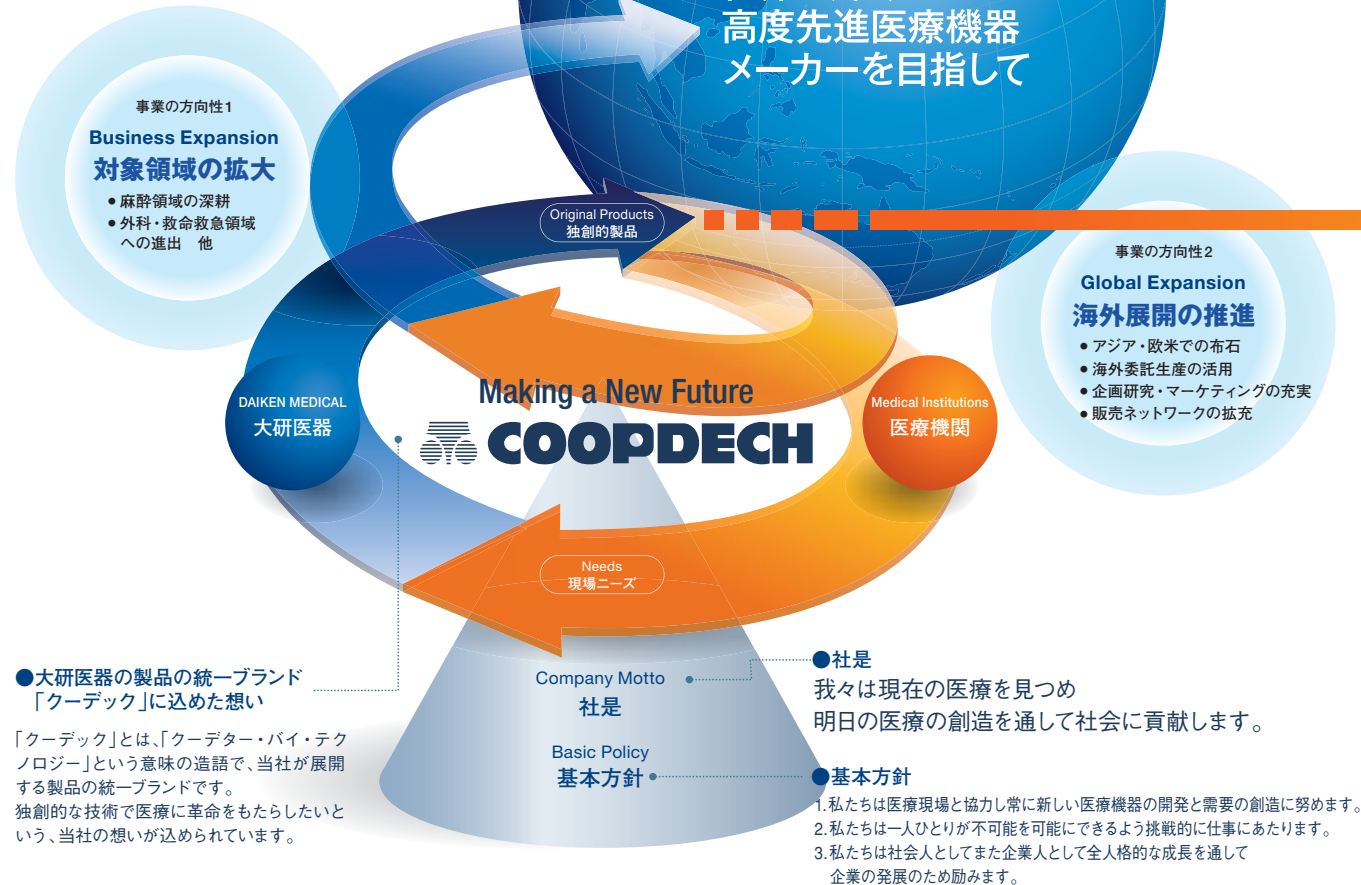
代表取締役社長

山田 達一



当社のビジネスの特徴

- 常に視野を広げ世の中の潮流の先を読む
- すべて顧客目線で捉え、医療現場とタッグを組んだ柔軟な組織で変化に機敏に対応する
- 焦点を絞った製品創りに没頭集中することによって特許に裏付けられた独創的な製品を提供し続ける



「世界に輝く高度先進医療機器メーカー」の実現に向け、独創的な製品を次々と開発

Suction

手術中の血液や体液等の廃液を吸収し、ワンタッチで凝固させることができます。凝固剤一体型で完全密閉のため、安心して移動・焼却処分が可能で、ウイルス等の院内感染予防に貢献します。

クーデック フィットフィックス



手術中に排出された血液や体液を吸収し、貯溜するディスプレイ型吸引器。

クーデック キューインポット



軽量かつコンパクトな使い捨て吸引器。病棟で簡単かつ清潔に使用可能。

Pump

手術後の痛みやがんの痛みを軽減するため、麻酔等の薬液を常に一定の流量で注入します。大気圧やメカトロニクス技術を利用することで、理想的な流量精度を実現しました。またPCAを利用することにより、現場のニーズにあわせて鎮痛剤の追加投与が可能となりました。

クーデック シリンジェクター PCA



大気圧を利用し流量安定化を実現した医薬品注入ポンプ。現場のニーズにあわせて流量調整も可能。

クーデック シリンジポンプ



注射筒に入った輸液を注入する電動ポンプ。高い精度で多様な流量調整が可能。

Others

救急医療や手術室等で使用する様々な製品を作り出しています。クオリティ・オブ・ライフの向上に繋がる製品を今後も送り出していきます。

クーデック 気管支ブロッカーチューブ



片側の肺にだけ人工呼吸を行う「分離肺換気」をサポート。気管支への低負担が特徴。

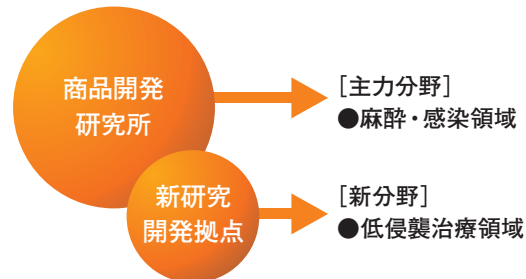
クーデック ビデオラリノスコップポータブル



CCD カメラで口腔内を映し、液晶画面に拡大表示して気管挿管をサポート。

研究開発
| 特集 |

低侵襲治療用具の研究開発拠点を新設。



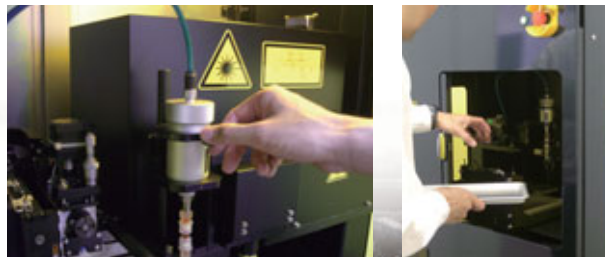
2011年4月18日に神奈川県川崎市のかながわサイエンスパーク内に、低侵襲治療用具を研究開発する目的で新研究開発拠点(部門名称:新市場開発部)を新設しました。

現在、当社の主力分野は麻酔・感染領域ですが、新市場開発部では新たな領域である低侵襲治療用具の研究開発を行ってまいります。

低侵襲治療とは手術治療においてできる限り患者様の体に対する負担を減らした治療で、なるべく患者様の体に傷をつけずに行う内視鏡治療やカテーテル治療が代表的です。

体への負担が少ないことで患者様の早期社会復帰が可能となることと、入院日数も短縮されることから患者様、医療機関双方にとってメリットがあり、現在注目されている治療分野となっています。

医療機関と協力体制を築きながら、数年内に低侵襲治療用具の発売を目指し、当社の使命である患者様の早期回復・社会復帰の実現に向けて、クオリティ・オブ・ライフの向上に取り組んでまいります。



かながわサイエンスパーク



新製品の開発と新分野への進出に取り組み、業績向上と企業価値増大を目指します。

当社の44期(2012年3月期)の業績予想は売上高は前期比12.1%増の70億円、経常利益は前期比17.7%増の11億200万円を目指しております。

既存製品を拡販していくことに加え、新製品を発売していきます。注射筒輸液ポンプであるクーデックシリンジポンプを改良し、より充実した操作性・安全性・視認性を実現した新製品や加圧式医薬品注入器であるクーデックシリンジェクター等で使用するPCA装置にカウンター機能を付加した新製品等を順次発売する予定です。

また、新たな医科領域へ進出すべく救命救急分野で生存率の向上を目指す咽頭冷却装置や神奈川県川崎市に設立した新研究所にて低侵襲治療用具の研究開発を進めてまいります。今後も、当社の新製品にご期待ください。

当社の認知度向上に向け、引き続きIR活動にも積極的に力を入れていきます。投資家様向け会社説明会をはじめ、各種メディアへの露出、自社ホームページの活用等を通じ、当社の取り組みや事業内容を幅広い方々に知っていただくようより一層努力してまいります。

今後も、当社の研究開発・製造・営業が一体となって市場

競争力を高めるとともに、さらなる業績の向上、企業価値の増大を通じ、株主の皆様には配当やキャピタルゲインにて十分な還元を実施していきたいと考えております。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

従来のシリンジポンプを改良した クーデックシリンジポンプCSP-110

充実した操作性・安全性・視認性を実現しました。



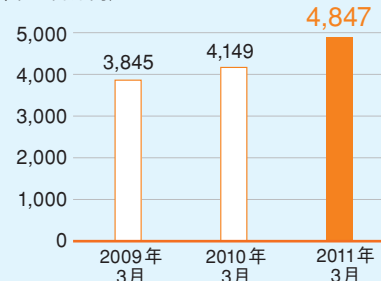
クーデックシリンジェクター/クーデックバルーンジェクターと組み合わせる新しいPCAセット

ディスプレイがブルタイプながらロックアウトタイム機能を実現。またクーデックPCAカウンターを組み合わせれば、患者様のボタン操作が記録できます。



流動資産 48億47百万円

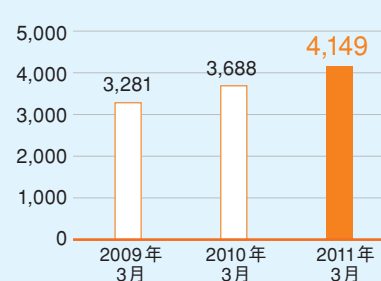
(単位:百万円)



流動資産は前事業年度末に比べて、6億98百万円増加し、48億47百万円となりました。これは、主として現金及び預金が3億45百万円、受取手形1億10百万円、売掛金が1億37百万円、製品が1億13百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産 41億49百万円

(単位:百万円)



純資産は前事業年度末に比べて、4億61百万円増加し、41億49百万円となりました。これは、主として繰越利益剰余金の配当により1億23百万円減少したものの、当期純利益の計上により5億55百万円増加したこと等によるものです。

貸借対照表(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2010年3月末)	当事業年度 (2011年3月末)
○資産の部		
流動資産	4,149	4,847
固定資産	3,050	3,013
有形固定資産	2,599	2,539
無形固定資産	69	87
投資その他の資産	381	387
資産合計	7,200	7,861
○負債の部		
流動負債	2,392	2,424
固定負債	1,119	1,287
負債合計	3,512	3,712
○純資産の部		
株主資本	3,686	4,148
資本金	495	495
資本剰余金	418	422
利益剰余金	2,940	3,371
自己株式	△167	△141
評価・換算差額等	1	△0.3
その他有価証券評価差額金	1	△0.3
新株予約権	—	1
純資産合計	3,688	4,149
負債純資産合計	7,200	7,861

損益計算書(単位:百万円)

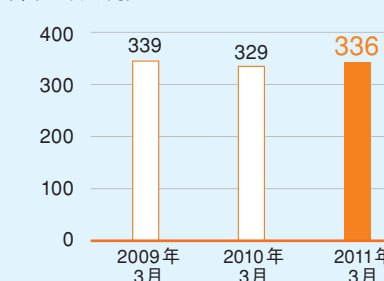
科目	前事業年度 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	当事業年度 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
売上高	5,739	6,242
売上原価	2,926	3,270
売上総利益	2,812	2,971
販売費及び一般管理費*	1,977	1,997
営業利益	835	974
営業外収益	4	6
営業外費用	20	29
経常利益	819	951
特別利益	—	2
特別損失	18	38
税引前当期純利益	800	915
法人税、住民税及び事業税	338	394
法人税等調整額	△26	△34
当期純利益	487	555

キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	当事業年度 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	551	920
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△318	△329
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7	345
現金及び現金同等物の期首残高	1,161	1,153
現金及び現金同等物の期末残高	1,153	1,498

研究開発費 3億36百万円

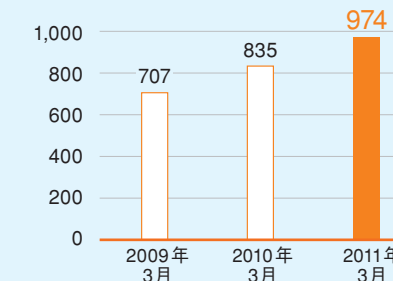
(単位:百万円)



研究開発費は、前期とほぼ同水準の3億36百万円となりました。主に、産学連携による先端医療機器の開発を行っております。

営業利益 9億74百万円

(単位:百万円)



営業利益は9億74百万円(前期比16.6%増)となりました。これは、主として売上増加に伴い販売費等が増加したものの、売上総利益が増加したことによるものです。

DAIKEN MEDICAL News Letter

2010 October

東京証券取引所 市場第一部銘柄に指定

2010年10月13日に創業以来の目標でありました東京証券取引所 市場第一部銘柄に指定されました。2009年3月12日に同取引所 市場第二部に上場してから約1年7ヶ月で一部指定を実現し、これもひとえに株主の皆様や取引先様からのご支援の賜物でございます。さらなる業績と顧客満足度の向上を図り、企業価値の増大に向けて取り組んでまいり所存でございますので、株主の皆様におかれましては、何卒一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2011 February

代表取締役会長山田 満が、TV番組 「Turning Point 賢者の選択」に出演

話題の経営者、時代のキーマンをスタジオに迎え、ビジネスの真髄に触れるトークを展開する「Turning Point 賢者の選択」に当社が取り上げられ、会長の山田 満が出演いたしました。創業のきっかけや創業時の苦労話、開発エピソードや現在の生産・開発体制、将来の展望等、東証一部上場を機にますます注目が集まる当社の様子が放映されました。各種メディア、投資家の皆様、就職活動中の学生等、様々な方面から多数の反響を頂戴いたしました。



番組は当社ホームページで視聴できますので是非ご覧ください。URL http://www.daiken-iki.co.jp/company/koho_douga.html

会社データ

■会社概要(2011年3月31日現在)

社名	大研医器株式会社
設立	1968(昭和43)年11月5日
	代表取締役会長 山田 満
	代表取締役社長 山田 圭一
売上高	62億4,235万円
従業員数	123名
本社	〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
業種	医療用機械器具製造販売、 医療用機械器具輸出入

■役員一覧(2011年6月24日現在)

代表取締役会長	山田 満
代表取締役社長	山田 圭一
専務取締役	山田 雅之
常務取締役	大浜 正彦
取締役	徳山 平烈
社外取締役	古賀 義久
常勤監査役	上原 康司
社外監査役	大工舎 宏
社外監査役	岩城 本臣

株式情報 (2011年3月31日現在)

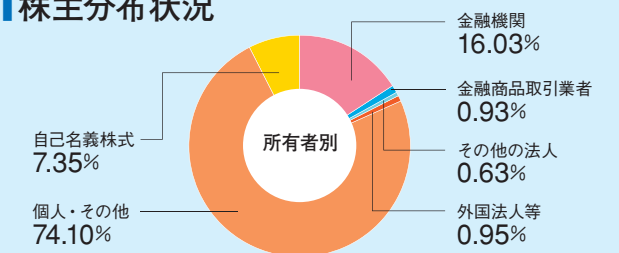
■株式の状況

発行可能株式総数	25,840,000株
発行済株式の総数	7,960,000株
株主数	2,235名

大株主	持株数(株)	持株比率(%)
山田 満	1,539,320	20.87
山田 圭一	1,529,440	20.73
山田 雅之	778,840	10.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	701,800	9.51
山田 米子	384,680	5.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	253,800	3.44
野村信託銀行株式会社(投信口)	197,400	2.67
大研医器従業員持株会	131,000	1.77
大浜 正彦	54,000	0.73
カブドットコム証券株式会社	48,800	0.66

※当社は、自己名義株式を585,020株保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己名義株式を控除して計算しております。

■株主分布状況



所有者別分布状況	株主数(名)	株式数(株)	百分率(%)
金融機関	20	1,276,376	16.03
金融商品取引業者	22	74,009	0.93
その他の法人	14	50,474	0.63
外国法人等	20	75,700	0.95
個人・その他	2,158	5,898,421	74.10
自己名義株式	1	585,020	7.35

株主メモ Stockholder Memo

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <http://www.daiken-iki.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



医療社会を未来する——

大研医器株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号 京阪神不動産御堂筋ビル14F
TEL:06-6231-9901(代表)
<http://www.daiken-iki.co.jp/>



この報告書は、再生可能な植物油インキを使用しています。